2020 年度 小委員会活動成果報告

（2021 年　2 月　3 日作成）

小委員会名	室内音響小委員会	主 査 名：石渡智秋 就任年月：20 19 年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	環境工学委員会（音環境運営委員会）	委員長名：持田　灯 主 査 名：羽入敏樹
設　置　期　間	2019 年　4 月　　～　　2022 年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	室内音響学に関する知見や技術を広く一般の建築に供することにより、快適で安全、安心な生活空間の創造を目指す。 初年度：　・活動方針、活動内容の決定 ・小委員会とＷＧの関係の確認 ・各ＷＧの活動方針・活動内容のサポート ２年度：　・各ＷＧの活動のサポート ・シンポジウム等、成果の公表の準備 ３年度：　・活動方針、活動内容の修正や方向性の決定 ・各ＷＧの活動のサポート ・シンポジウム等、成果の公表の準備 ４年度：　・まとめ	
委員構成 （委員名（所属））	委員公募の有無：無 主査：石渡智秋(永田音響設計) 幹事：青木亜美（日建設計）、服部暢彦（永田音響設計） 委員：李 孝珍(東京大学)、 池上 雅之(大林組)、 上野佳奈子（明治大学）、大久保洋幸（NHK）、 川井 敬二(熊本大学)、 佐久間哲哉(東京大学) 、佐藤 史明(千葉工業大学)、 清水 寧(Sound/Form Design Lab)、 志村留美子(日本設計)、 羽入 敏樹(日本大学)、 宮崎 秀生(ヤマハ)	
設置 WG （WG 名：目的）	・インパルス応答予測・計測 WG：明瞭度指標 STI に関するベンチマーク問題検討 ・子どものための音環境 WG：子どものための空間に必要な音環境性能の把握、啓発 ・室内音響啓発コンテンツ企画 WG：音環境向上のため啓発コンテンツ計画 ・吸音設計 AIJES 検討 WG：吸音設計に関する AIJES 作成検討	
2020 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有：　インパルス応答予測・計測 WG HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/

項　　目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー等） *能力開発支援事業委員会承認企画	１．第 80 回音シンポジウム 音声伝送性能評価指標としての STI を有効活用するために －その概要・注意点と活用事例の紹介－ （資料名　催し名に同じ　PDF 配布） 参加者数 33 名
~~大会研究集会~~	~~１．（名称）　参加者数　　名~~ ~~（資料名）~~
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	１．活動方針に沿って、その実行を担う WG を発足し活動を進めつつ、小委員会においては現状の状況下による問題点等の話し合いを進めており着実に達成を行っている。 ２．WG として活動成果が得られたインパルス応答予測・計測 WG においては、その活動成果をシンポジウム開催により発表した。
委員会活動の問題点・課題	１．現状の社会状況から、対面での会議が難しいこと。委員会開催時のオンライン会議システム利用について、学会システムの利用などの提供もお願いしたい。 ２．

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	(A)　B　C　D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	音環境の向上を鑑み、広く社会に吸音啓発を促すことを目的として、活動を行ってきた。現状の分析等を小委員会で行うとともに、その実行方法として、WG を設置し、活動を推し進めている。 特に、啓発活動を担う重要な WG として、啓発コンテンツ WG では、WEB 配信の用意を始めた。さらには吸音設計 WG において、AIJES 作成により吸音啓発を進めるための検討を進めている。 また、継続して進めてきた子どものための音環境 WG では、各種団体への協力等も行われ、広く啓発活動を行っており、インパルス応答計測等に関して検討を進めてきたインパルス応答予測計測 WG においては、成果をシンポジウムにて発表し、会員をはじめ広くにその知見が提供できた。 以上のように、小委員会設置目的に沿ったふさわしい成果をあげていると考える。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画･目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価･外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。